

優良経営者表彰推薦調書

個人の活動履歴 ☆氏名、経営体名称と役職、卒業学科と年次は表彰状・記念品に使用しますので、間違いのないように正確にご記入ください。なお、推薦調書は返却いたしません。

活 動 履 歴 書			
ふりがな		男 女	生年月日 昭和・平成 年 月 日
氏名			(年齢) () 歳
経営体名称			
住 所	〒		
電話, Fax	Tel	Fax	
ホームページ, E-mail	http://	E-mail	
学 歴			
年 月	事 項		
19〇〇年3月 19〇〇年4月 19〇〇年3月 19〇〇年4月 19〇〇年3月	* 中学校卒業後の学歴をご記入ください。 ○〇市立△△中学校卒業 ○〇県立◇◇高等学校△△科入学 ○〇県立◇◇高等学校△△科卒業 東京農業大学農学部○学科入学 東京農業大学農学部○学科卒業 (学長賞受賞) <u>※卒業証明書を添えてください。</u>		
農大卒業後の主な活動・職業・役職・表彰歴など			
年 月	事 項		
19〇〇年4月 19〇〇年4月 19〇〇年7月 19〇〇年10月	(株)農大食品入社 製造部配属 (株)農大食品 製造部長 (株)農大食品 専務取締役 (株)農大食品 代表取締役社長		
<現在の役職・地位> (株)農大食品 代表取締役社長 ○〇県食品工業組合理事長 ○〇商工会功労賞受賞			

1. 地域概況

※推薦対象となった経営に影響を及ぼしたと思われる地域の地理（地域の地形、気候、風土の特色、交通など）、歴史（地域の発展概要など）、産業（農業生産、工業生産、商業の特色、特産物、地域振興など）、観光等について適宜記述してください。

2. 経営発展の歴史

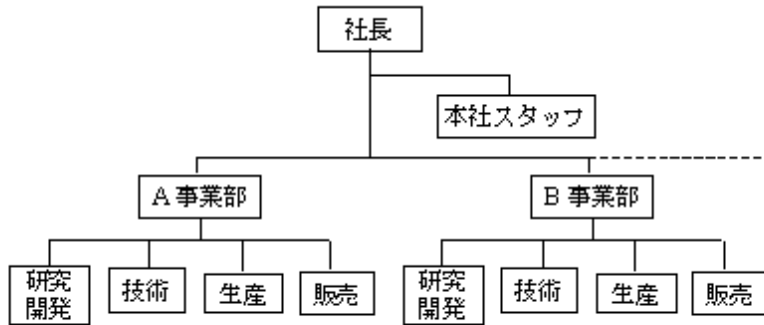
年 月	経営展開上の主な出来事	主要部門の規模
	<p>※創業から現在に至るまでの経営展開上の主要な出来事、具体的には創業、事業の承継、規模の拡大、事業範囲の拡大、組織の改革・新規技術の開発・流通や販売方法の革新、その他特記事項について年次順に記述してください。</p> <p>〈例〉 初代〇〇 農大食品を創業</p> <p>個人企業を法人化、(株)農大食品となる</p> <p>△△技術を開発、特許取得</p> <p>◇◇支社を開設、西日本に事業展開</p>	<p>経営展開上の主な出来事が経営にどのような影響を及ぼしたか記述してください。</p> <p>〈例〉 個人企業として実質的に創業</p> <p>家計と経営の分離により企業として本格的に事業を展開</p> <p>新規技術により開発した商品がヒット。売上〇〇億円となる。</p> <p>新規商品の販路拡大のため支社を開設。</p>

3. 経営成果の特色

1) 経営概況（主要経営部門・経営組織もしくは会社組織の構成図）

※主要経営部門・経営組織もしくは会社組織の構成図を示してください。

〈例〉



事業部制組織の構造モデル

※特筆すべき経営上の特色を記述してください。

〈例〉 弊社の経営上の特色として以下の事項をあげることができる。

- ①新規技術開発による売上の拡大：新規技術によりニッチ市場を創造し、売上を伸ばした。
- ②業界初の海外展開による新規市場獲得：他社に先駆けて海外企業と特約店契約を結び、ヨーロッパ市場に進出した。
- ③全社的環境保護活動：社内美化だけではなく会社・工場周辺の地域美化に全従業員が取り組む。
- ④積極的な地域社会への貢献：小集団活動を活用し、地域のボランティアに積極的に取り組める組織作りを行い、地域貢献企業として自治体から表彰された。
- ⑤最適規模経営による適正利潤の獲得：単なる規模拡大ではなく、地域社会、顧客、従業員の最適な福利を考えた最適規模・適正利潤経営を行っている。

2) 生産性指標

※直近5年の主要な生産性指標を示してください。

主要生産物（商品）が複数ある場合には、可能な限り品目別に列挙してください。

〈例〉

年度	生産量 (t)	対前年比	指数	売上高 (億円)	対前年比	指数
2015年	100	—	100	10	—	100
2016年	110	110	110	12	120	120
2017年	130	118	130	15	125	150
2018年	160	123	160	18	120	180
2019年	200	125	200	20	111	200

※当該生産物（商品）の市場構造（市場内の競争構造等）ならびに貴社の市場での位置づけについて説明してください。

〈例〉

当該商品の市場は、大手企業5社と中小企業約300社の二重構造となっているが、地域性のある商品であるため中小企業も存立可能となっている。弊社はその中で、大手ではないが近畿圏50社中で上位に位置する中堅企業である。

※示していただいた貴社の生産性指標について、その特色を記述して下さい。

〈例〉

弊社の生産規模は近畿圏内で50社中上位5位に入り、全国では約300社の中で20～30位に位置している。但し、弊社はこれまで培ってきた伝統技術により高級品に特化した生産を行うと同時に、海外輸出にも積極的に取り組んでいる。

4. 生産管理や労務・人事管理の特色

※最近5年間の従業員数の推移を示してください。

〈例〉

年度	従業員（名）	対前年比	指数	パート等（名）	対前年比	指数
2015年	100	—	100	10	—	100
2016年	110	110	110	12	120	120
2017年	130	118	130	15	125	150
2018年	160	123	160	18	120	180
2019年	200	125	200	20	111	200

※雇用体制、労務・人事管理の特色を具体的に記入してください。

〈例〉

- ① これまでは中途採用中心であったが、企業規模の拡大とともに新卒定期採用に力をいれ、計画的な雇用管理を行っている。
- ② 正規従業員の採用を軸とし、パート等は定年等による退職者の再雇用によるものである。
- ③ 従業員の福利厚生にも力をいれ、有給休暇の積極的な取得、産休・育休制度の充実、海外研修旅行などを行っている。
- ④ 従業員のモチベーションを高めるため、提案制度を導入し、現場の意見やアイデアを大切にしている。

5. 技術上の特色

※技術スタッフの養成、設備、技術開発と受賞例など具体的に記述してください。商業の場合には販売手法等について記述して下さい。

〈例〉

- ① 専門的技術スタッフを養成するため、東京農業大学を始めとする食品技術を教育している大学から積極的に新卒者を雇用している。
- ② 製造設備には積極的な投資を行い、より効率的な生産ができるようにしている。具多的には〇〇、△△、◇◇などの機械・設備を導入した。
- ③ 高い技術力により製品差別化を図るだけでなく、特許取得も行い、競争優位性を維持している。
- ④ 弊社の有力商品〇〇は、第△回◇◇大臣賞を受賞している。

6. 加工・販売体制の特色

※加工・販売体制の特色を具体的に記述してください。

(例)

- ①販売網の拡大を図るため、業界他企業に先駆けて北海道から沖縄まで網羅できる営業所体制を構築した。
- ②鮮度の維持と固定客の確保のため、独自の直販システムを構築した。
- ③業界では機械による生産が主流であるが、あえて伝統的手法による手作りにこだわった製造・加工を行うことで、他社との差別化を図り、高付加価値化を実現した。

7. 経営成功の要因

※申請者ご本人が関わった経営成果を項目ごとに整理し、それにかかる経営成功の要因を具体的に記述して下さい。

(例)

- ①業界トップの品質を有する商品の開発：先代から承継した技術を発展させ、他社にはない独自技術を開発し、高品質商品を生みだした。これらの商品は20XX年〇〇賞、20YY年△△賞を受賞した。
- ②商圏の拡大：先代は地元中心の商圏であったが、社長就任後、技術開発とともに販売促進にも注力し、営業促進部の設置、関西営業本部の設置、フランスとアメリカに駐在所を設置するなど、地元から全国、そして世界に向かって商圏を広げている。
- ③栽培困難な新品種の栽培に成功：独自の栽培技術により、栽培困難とされた新品種の栽培に成功し、付加価値・利益率の高いりんごを生産できるようになった。また、栽培技術を地域に普及することにより、地域のりんご農家全体の底上げにつながり、□□県知事より表彰を受けた。

8. 将来の展望

※将来の展望を項目ごとに整理して、その内容を記述してください。

(例)

- ①少子高齢化に伴う国内市場の縮小を見越し、海外進出に向けた拠点作りをしている。
- ②同族による事業承継から、やる気と能力のある従業員を積極的に登用し、後継者育成を図っている。
- ③農業生産中心の事業体系を変革し、加工・販売を取り込んだ六次産業化を進めている。

< 損益計算書、貸借対照表もしくは青色申告書のコピーを添付 >

※過去3年分の損益計算書、貸借対照表、青色申告書のコピーを添付してください。
損益計算書上において損失を計上した場合には、その理由を記入してください。